

# 令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	27	評価区分	Ⅱ 観光施設、産業振興施設
施設名	飛騨市種蔵山里の暮らし体験施設	所管課	宮川振興事務所 地域振興課
指定管理者	たねまくひとの会	地域名	宮川町

## 1 施設の概要

施設所在地	飛騨市宮川町種蔵37番地2
設置目的	地域住民と都市住民との交流を促し、地域活性化と景観保全を図る。
施設の概要	民家棟(1棟)、板倉棟(3棟)、附帯施設

## 2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 21 年 4 月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)		
利用料金制	有り		

## 3 職員の配置

配置人員	常勤	時給職員1人
	非常勤	時給職員16人(調理補助等)

## 4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	559	365	400	863
前年度増減比 (%)		-34.7%	9.6%	115.8%

## 5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数 812人	利用者数 863人 達成率106.3%

## 6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	68 件
アンケート方式	レビュー・聞き取り		
その他の方式	手段	件数	件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	シャワーの圧が弱い	設備問題として飛騨市へ要望済み
	②		
	③		
市に対する意見	①		
	②		
	③		

## 7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
環境保全事業に参加したり、集落内等の体験ガイドを地元の方をお願いしたりして連携を図った	令和4年8月開催の地域住民との座談会時点では交流や連携は図られていなかったが、座談会以降は作業へ参加するなど地域の人との交流の改善が見られた。

## 8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
観光客と関係人口で利用者の2極化を図り、上質なサービスの提供とイベント利用者の集客を行った	2極化により観光客及びイベント時利用者の増加に繋がった

## 9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
集落案内やそば打ち体験などの里山の体験メニューを拡充した他、イベント時のカフェ提供などを行った	里山体験メニューはインバウンドに好評価となっている。

## 10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
料理の盛り付けと写真映え講習への参加	ほとんどの期間1名で運営しており、その他の職員は随時の手伝いのみ。人材育成は殆どできておらず、サービス水準の安定性に課題がある。

## 11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	6,382	5,931	6,850	11,235	
指定管理料	4,064	4,000	4,000	4,000	
利用料金	1,310	1,100	1,616	4,831	
純売上高	1,008	831	1,174	2,357	
その他		0	60	47	
支出	7,073	6,155	6,320	10,099	
売上原価	474	463	653	946	
人件費	1,849	2,453	2,459	4,133	
光熱水道費	914	699	966	1,189	
設備保全費	139	131		213	
修繕費	90	1	147	129	
備品消耗品	574	1,027	555	1,710	
清掃費	498	283	312	473	
その他管理費	241	167	24	19	
運営費事務費	1,372	891	1,130	1,215	
その他	922	40	74	72	
指定管理業務収支	△ 691	△ 224	530	1,136	
自主事業収支	-	△ 122	△ 423		
全体収支	△ 691	△ 346	107	1,136	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

## 12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
宿泊料金の二極化やSNS等によるイベント企画の積極的な発信により利用者の増加に努めた	二極化及びSNSによる効果的な宣伝により収入の増加に繋がった

## 13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
野菜などの食材の自給や施設の小修繕を自主実施した	野菜などを種蔵地域内から仕入れることや施設管理業務を自前で実施することで削減に繋がった。

#### 14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価	評価に対する内容
平等利用の確保(10)	c (4)	基本的にインターネットでの予約となっており、先着順に予約が行われている。
施設の効用の発揮(25)	c (13)	情報発信は、SNSをはじめとするインターネットを活用し、順当にできている。宿泊の2極化、地域行事への参加などの取り組みがうまくいき、利用者は計画を超える状況であり、施設や地域の魅力の発信については評価できる。
安定した管理能力(20)	e (0)	運営団体自体が不安定な状況。代表理事以外の役員は外国人でベルギー在住であり、運営団体として適切であるか疑問である。 また、短期の従業員については都度雇用できているが、通年での雇用ではないため、実質的に代表理事1名での管理となっており、サービス水準の安定性や管理能力の点で課題がある。
経費の縮減(20)	b (15)	食材の自給、地元からの購入により経費縮減に努めていることは評価できる。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	c (13)	宿泊客に対する集落案内などの取り組みは、インバウンドに喜ばれるサービスとなっており評価できる。カフェについてはイベントのみであり、年間通じて複数回の開催など積極的な実施が望まれる。
総合評価	D+ (45)	予約サイト登録、SNSでの発信によるインバウンド誘客や宿泊プランの二極化、里山体験メニューの拡充による宿泊者の満足度向上に繋がっている。 運営団体としての人員が不足しており、適切な意思決定や安定した施設運営の継続が懸念されるため、組織体制を整えることが急務である。